

じゅう にん と いろ 十人十色

まほろば季刊誌 秋・冬号

- ◇平成 25 年 2 月 （まほろば広報部）
- ◇社会福祉法人 大原野福祉会
まほろば高齢者総合福祉施設
- ◇住所：京都市西京区大原野上羽町 39-1
- ◇電話：075-332-4165
- ◇FAX：075-333-7227

事故防止対策委員会

☆当施設における介護事故に関する基本的な考え方をマニュアル「事故防止の指針」よりご紹介します。

「当施設では、『人間としての尊厳を冒し、安全や安心を阻害しており提供するサービスの質に悪い影響を与えるもの』をリスクとして捉え、より質の高いサービスを提供する事を目標に介護事故の防止に努めます。そのために、必要な体制を整備するとともに、利用者一人ひとりに着目した個別的なサービス提供を徹底し、施設全体で介護事故の防止に努めます。」となっています。

施設での日常生活には、食事、排泄、入浴、コミュニケーション、就寝、リハビリや治療といったさまざまなシーンがありますが、その基礎となるのは「安全」です。法人理念や基本方針を実践するためには、「快適さ」を求める前に、安心して暮らせる環境（物的、人的）を整備し維持する事がもっとも大切なことと私たちは考えています。事故防止対策委員会は、各フロアのリーダーまたはその職に準ずる者、介護主任、施設ケアマネジャー、統括主任で構成されており、発生した事故を科学的に分析し再発防止のための対策を講じる役割を担っています。

☆具体的な活動内容は次のとおりです。

- （1）発生した事故を集計し分析する。
 - イ、月毎に各フロアで発生した事故を種類別に報告する
 - ロ、発生した時間帯、場所、介護度等も考慮に入れて事故の原因を分析する
 - ハ、年度毎に累計した事故を分類し年度の傾向を把握する
 - ニ、上記イ～ハに対する対策を検討し全フロアに対策の周知徹底を図り実施
 - ホ、対策実施後その効果を確認する
 - （2）事故には至らなかったけれども危険な状況にあった、または危険な介護手法がとられていた等ヒヤリハットの事例も報告
 - イ、事故報告同様に検討を加える
 - ロ、複数回報告されている利用者様について特に注意を喚起する
 - （3）介護事故だけにこだわらず施設全体のリスクについて話し合い、日常業務から一歩身を引いて立ち止まって日々の業務について考える、リーダーの研修の場として活用。
 - イ、法人を運営する側から直接考えや方針を聞く。
 - ロ、介護の手法、技術についてケアマネジャーや介護主任からの指導を受ける。
- ☆前出の「事故防止の指針」には自己対策委員会を3ヶ月に1回開く（必要ときは随時）となっていますが、現在毎月開催しています。職員の介護事故に対する意識は以前にも増して高くなってきていますが、今年度の12月までの事故件数の累計は39件で前年の同時期は35件でした。件数だけが重視され、数字だけが独り歩きして、報告を躊躇するという弊害が生じる可能性があるため、事故件数の増減に委員会としてはこだわってはいませんが、少ないにこしたことはありません。最終的な目標は事故件数の削減ではなく、ゼロ件であることを委員一同再確認して介護事故の防止に努めていきます。

- ◆ 法人理念
利用者様の尊厳を守り、安心と笑顔のある暮らしを支援する。
- ◆ 基本方針
 - 共 同
私達は、利用者様がおだやかで、心豊かな毎日が送れるよう、利用者様と共同して生活を築きます。
 - 尊 重
私達は、利用者様の個性、主体性を尊重した支援をします。
 - 向 上
私達は、専門性、資質の向上のため、常に自己研鑽に努め、信頼される職員になります。
 - 公 正
私達は、公平、公正な事業運営をします。
 - 交 流
私達は、地域に根ざした事業所となるよう、地域の方々とふれあいの機会を持ちます。



事故対策委員会は最も重要な委員会と位置付けられています。



会合は毎月第一水曜日に開催されています。



秋冬号ではまほろばの委員会活動を紹介しています。次の秋冬号でも順次委員会活動を紹介します。ご期待下さい。

まほろばの食事



管理栄養士の田中康寛です。食事のことでお気づきのことやご意見がありましたらぜひお聞かせ下さい。

☆田中のお勧めメニュー



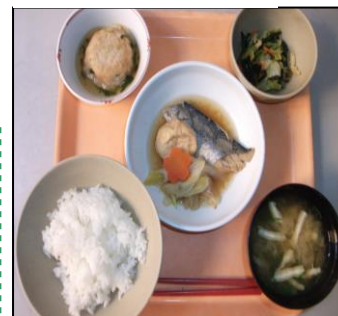
ご飯、赤魚の山芋蒸し野菜あんかけ、小松菜の香味和え、マカロニサラダ、豚汁

メインの赤魚はすった山芋をのせて蒸します。その上にかつおでとった出汁で作ったあんをかけます。あんの中には野菜が入っているので繊維質もたくさん取っていただけます。また赤魚の身はほくしやすくなっています。私一押しの一品です。

食事は栄養の摂取ではなく、味覚で感じる楽しみです。また1日の生活リズムを形成するのに大変大切な行為であることは言うまでもありません。ご家族様はご本人様がどんな食事を召し上がっているのか、あまりご覧になったことがないのではないのでしょうか。そしてそれ

けに関心をお持ちなのではないでしょうか。そこで今回は、食事についてほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。まほろばの食事は365日3食とも「丸玉フーズ株式会社」に委託しています。栄養士が献立を作り、施設の厨房を使って丸玉フーズが調理して提供させていただいております。

（基本パターン）



写真真ん中がメインの料理で、上の方小鉢2種類とご飯、汁物。

（カレーパターン）



カレーライスやハヤシライスのときのパターンです。

（記念日パターン）



元日や創立記念日、敬老の日にはこんなに豪華な幕の内弁当が出る時もあります。写真は本年元日の昼食です。

（麺類パターン）



麺類や丼物も昼食には供されます。左はかやくごはんとしっぽくうどん、右は牛丼です。

（丼パターン）

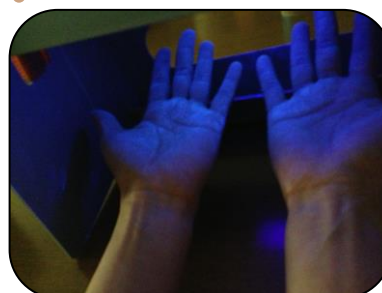


献立はメイン料理が選べる選択食以外、職員も利用者様も同じですが、咀嚼能力や嚥下能力に応じて一口大に切ったり、細かく刻んだり、ペース状にしたりして提供します。



おいそうだワン！

感染症対策講習



少し分かりにくいかもしれませんが、掌に白い点が見えます。それが手洗い後でも洗い落とせていない雑菌だそうです。

感染症対策の第一は手洗いです。仕事を始める前や食事介助の前には必ず手洗いをして予防に努めています。



去る1月23日西京保健センター洛西支所の保健師お2人にお越しいただいて、感染症についての講習会を開いていただきました。

2006年に猛威をふるったノロウィルスは、今シーズンその変異形が流行しているそうです。新聞紙上では、病院や特養で感染が広がり死者が多数でたという記事が掲載されていました。まほろばでも感染症、特にノロウィルスに対する対処法についてはマニュアルがあり、日々のミーティング等でその確認や実演をして感染症に備えています。今回の講習会は、ノロやインフルエンザのウィルスを施設内に持ち込まないための対策と、ノロウィルスに対する正しい知識の再確認を主目的に開催されました。一度感染が広がると収束するまでにかなりの時間と労力を要し、施設のご利用者様の命にもかかわってくる事態となるので、参加者全員真剣に研修に取り組みました。

ボランティア募集中

『まほろば』では、ボランティアを随時募集しております。

特別な技術は必要ありません。

得意分野や興味のある活動を選んで参加してみませんか？

- 利用者の方のお話相手
- お散歩
- 洗濯物たたみ
- 手芸指導（簡単なお針や作品作りなど）
- 習字指導
- 入浴後のドライヤーかけ
- シーツ交換
- 喫茶 ほか

☆ボランティアありがとうございます。☆

琴美会様・大昭会様・楽朗演芸団様・打手出洋会様・上里チャペル様

綿製品の布

■余っていませんか？綿製品の布■
Tシャツ・タオル・シーツなど、綿製品の布が余っていませんか。ぜひ譲ってください。

デイサービスだより

〈デイサービス利用者様のご様子です〉



今年最初のご利用日、1月2日にまほろばの近くにある「大歳神社」へ初詣に行きました。小雪のちらつく寒い日となりましたが、利用者の皆さまはお元気に参拝されました。



お正月に拝殿の前で拍手を打って頭を垂れると、心が洗われるような気がしますネ

同行したスタッフは、まほろばのデイサービスをご利用いただいている全てのご利用者様とそのご家族様が、今年一年間健康に過ごされますようお祈りしました。

手品&腹話術&バンド演奏

2月3日日曜行事「舞台鑑賞会」のご様子です。今回は手品・腹話術を中心に活動する『桂川マジッククラブ』様、ボランティア・バンド『ハッピー パンブー』様にお越しいただきました。手品ではご利用者様方が『あっ!!』と驚かれ、腹話術では漫才のような演目に笑いが起き、最後の演奏では懐かしい歌謡曲を生バンドの演奏をバックに皆さまで合唱しました。

2013 年度も様々なイベントを企画しておりますのでよろしくお願いします。



消防訓練



まほろばでは年2回消防訓練を実施しています

平成24年10月17日(水) 三部洛西消防出張所のみなさんのご指導を得て消防訓練を実施しました。実際に火災がおこってもスプリンクラーが作動し、炎によって室内が燃えるということはまずないそうですが、職員の数が少なくなる夜勤帯の午前1時に新館1階で火災が発生、職員5名で初期消火にあたり、初期消火に失敗し、入所者様を避難誘導するという想定で行ないました。今回は4月以降に入職した職員を中心に12名が参加、約30分間にわたって訓練を行いました。当然まほろばでの消防訓練は初めて、



また消防訓練自体初めてという職員が大半でした。通報係は119番に電話して(事前に訓練の旨が連絡されています)実際の火災時にはどのようなやりとりがなされるのかを体験しました。そして、火災を知らせる警報音と緊急放送を館内に流し、実際の火災さながらに参加職員全員が緊張感をもって訓練しました。今回は天候と時間の関係上、消火器、消火栓の実際の使用訓練や消火設備についての説明ができませんでしたが、次回以降は消火、避難誘導等の行動訓練だけでなく、消火、防火についての知識や技術の取得についても実施していきたいと考えております。

こんにちは! ケアマネです

『冷え』を感じる時がありませんか? 『冷え』は体の中の毛細血管へ暖かい血が流れにくい血行の悪い状態になっている時に、感じるのだそうです。

効果的な対策は「お風呂で温まる」「重ね着をする」「靴下などで足を温める」そして「首を温める」事も有効です。首は頭を支えているため、常に筋肉が緊張し血液が滞りやすい部分です。マフラーやスカーフ等で温めてあげてください。

体をポカポカ
温めましょう!!

居宅 宮下 眞純
誉田 庸子
河野 眞佐子
山本 時子

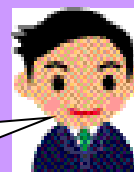


ご面会についてのお願いをお知らせ

ご面会の折には、受付に設置しております手指消毒機で手指の消毒を必ずしていただくとともに、利用者様への感染を防止するため、かぜ等をお引きの方はマスクの着用をしていただくか、面会をお控えくださいますようお願いいたします。

また、利用者様に感染性疾患の症状がみられる時には、ご面会を制限させていただく場合がございます。あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

ご協力よろしくお願いたします。

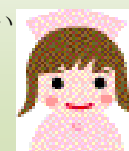


医療だより

まだまだ寒い日が続く今日この頃。それに伴いインフルエンザやノロウイルスが巷を賑わしはじめ、うがい、手洗い、加湿に保温と色々気を使う時期ですね。こんな日々、免疫力がアップし、心も体も温まる方法があります。それは「大笑いすること」です。アハハとお腹の底から声を出し大笑いすると、緊張感がほぐれてポカポカと体が温まり、更に免疫力も上がり、結果的に風邪やインフルエンザなどの予防に繋がり、しかも気持ちも明るくなっていきます。寒い季節こそ、是非大笑いして乗り切っていきましょう。

看護師
井上 京子

「笑う門には
健康来る！」
ですよ



特養だより

鍋パーティーのときにピースポーズをとっていただきました。

1月24日新館2階7
フロアのすみれユニ
ットで鍋パーティーを
催しました。とても
好評でみなさん暖ま
ったとあっしゃって
いました。

あまりにすてきな笑
顔なので思わず周
りの人たちも笑顔
になりました。

赤頭巾ち
ゃんみだ
いでとて
もかわい
いです



お2人ともスタッフの要求に
応じてナイスなピースポーズ
をとっていただきました。



スポンジこそ既成品
ですがデコレーショ
ンは手作りのクリス
マスマスケーキ、とても
おいしかったです。



サンタのコスプレ
で記念撮影



楽しそ
うだ
ワン!